

大阪市後期高齢者医療期別保険料等の決定等に関する要綱

制定 平成 20 年 7 月 1 日

第 1 趣旨

この要綱は、別に定めがあるもののほか、後期高齢者医療期別保険料の決定及び変更決定、特別徴収の開始決定及び停止決定、期別保険料に係る所定の様式等に関し必要な事項を定めるものとする。

第 2 期別保険料の決定及び変更決定

1 特別徴収に係る期別保険料の決定及び変更決定

下記第 4、2 に定めるところによる。

2 普通徴収に係る期別保険料の決定及び変更決定

(1) 大阪府後期高齢者医療広域連合が行う保険料の決定又は変更決定に応じ、大阪市後期高齢者医療に関する条例（平成 20 年大阪市条例第 40 号。以下「後期高齢者医療条例」という。）第 4 条第 3 項及び第 4 項並びに第 6 条に定めるところにより、期別保険料の決定又は変更決定を行う。

(2) 後期高齢者医療条例第 4 条第 4 項に規定する場合においては、最初の納期の次の月期以降の期別保険料額を 1,000 円ずつとし、残りの保険料額が 2,000 円未満となった場合、当該残りの保険料額を最初の納期の期別保険料額とし、その他の納期の期別保険料額を 0 円とする。

3 4 月以降の期別保険料決定及び変更決定

大阪府後期高齢者医療広域連合が前年度分以前の保険料の決定又は変更決定を 4 月以降に行った場合は、当該決定又は変更決定が行われた月をもって保険料の納期とする（後期高齢者医療条例第 4 条第 2 項）。

4 特別徴収が停止された場合の期別保険料変更決定

(1) 次に掲げる区分に応じ、次に定める月期の特別徴収額を 0 円に変更決定する。

ア 特別徴収の開始を年金保険者に依頼した月期の末日に、年金保険者から特別徴収の開始ができなかった旨（以下「特別徴収依頼結果 N G」という。）の通知があった場合 特別徴収依頼結果 N G となった月期以降の特別徴収額

イ 特別徴収されるはずであった月期の翌月に、年金保険者から当該特別徴収対象者について特別徴収できなかった旨（以下「特別徴収結果NG」という。）の通知があった場合 特別徴収結果NGとなった月期以降の特別徴収額

ウ 特別徴収停止の場合（エに掲げる場合を除く） 特別徴収が停止される月期以降の特別徴収額

エ 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則（平成19年厚生労働省令第129号。以下「施行規則」という。）第106条第6号に該当することによる特別徴収停止の場合 次の区分に応じ、次に定める特別徴収額
（ア）偶数月の年金支給日以降又は奇数月に喪失の場合 次月期又は次々月期以降の特別徴収額

（イ）偶数月1日以降年金支給日前に喪失の場合 当月期以降の特別徴収額

（2） 上記（1）により特別徴収額を0円に変更後、残りの保険料額（変更後の年間保険料額から変更後の特別徴収額を減じた額をいう。以下同じ。）がある場合は、残りの保険料額について、次の区分に応じ、次に定めるところにより期別保険料を変更決定する。

ア 残りの保険料額が納期到来済みの普通徴収額よりも大きい場合
不足となる保険料額（残りの保険料額から納期到来済みの普通徴収額を減じた額をいう。）について、決定月をもって後期高齢者医療条例第4条第3項に規定する最初の納期として、同項の規定を適用する。

イ 残りの保険料額が納期到来済みの普通徴収額よりも小さい場合
決定月の直近過去の月期の普通徴収額から順に、超過となる額（納期到来済みの普通徴収額から残りの保険料額を減じた額をいう。）が0円となるように過去に向かって減じる。

（3） 上記（1）により特別徴収額を0円に変更後、残りの保険料額がない場合、変更後の特別徴収額を決定月の直近過去の月期の特別徴収額から順に、超過となる額（変更後の特別徴収額から変更後の年間保険料額を減じた額をいう。）が0円となるように過去に向かって減じる。

5 期別保険料の算定

各月の基準日時点において、大阪市後期高齢者医療システムにより、自動算定する。

第3 期別保険料決定通知書・変更決定通知書

大阪市後期高齢者医療に関する規則（平成20年大阪市規則第86号。以下「後期高齢者医療規則」という。）第2条に規定する通知の所定の様式は、第1号様式のとおりとする。

なお、上記様式は、大阪府後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例施行規則（平成20年大阪府後期高齢者医療広域連合規則第4号）第20条第2項の規定による大阪府後期高齢者医療広域連合における後期高齢者医療保険料決定通知書・変更決定通知書と一体型とする。

第4 特別徴収開始の決定

1 特別徴収開始の対象者

特別徴収開始の対象者は、次に掲げる規定に定めるところにより判定する。

- （1） 高齢者の医療の確保に関する法律第110条において準用する介護保険法（平成9年法律第123号。以下「準用介護保険法」という。）第134条第1項から第3項まで
- （2） 準用介護保険法第135条第1項及び第2項
- （3） 高齢者の医療の確保に関する法律施行令（平成19年政令第318号。以下「施行令」という。）第23条

2 各老齢等年金給付において特別徴収する保険料額

各老齢等年金給付において特別徴収する保険料額は、次に掲げる規定に定めるところにより算定する。

- （1） 準用介護保険法第136条第1項及び第2項
- （2） 施行令第28条第1項又は第29条第1項において準用する介護保険法第136条第1項及び第2項
- （3） 準用介護保険法第140条第1項及び第2項
- （4） 施行令第28条第1項又は第29条第1項において準用する介護保険法第140条第1項及び第2項
- （5） 施行規則第100条
- （6） 施行規則第110条第1項及び第2項
- （7） 後期高齢者医療条例第7条

3 対象者の判定及び各老齢等年金給付において特別徴収する保険料額の算

定

各偶数月の基準日時点において、大阪市後期高齢者医療システムにより、自動判定・算定する。

第5 特別徴収停止の決定

1 特別徴収停止通知書の送付対象者

(1) 特別徴収の停止を依頼する者

特別徴収の停止を依頼する者は、次に掲げる規定に定めるところにより判定する。

ア 準用介護保険法第138条第1項

イ 施行令第28条第1項又は第29条第1項において準用する介護保険法第138条第1項

ウ 施行規則第106条

(2) 特別徴収結果NG者

上記アに定めるもののほか、特別徴収されるはずであった月期の翌月に、年金保険者から特別徴収結果NGである旨が通知された者

2 対象者の判定

各月の基準日業務終了時点において、大阪市後期高齢者医療システムにより自動判定する。

なお、施行規則第106条第6号に該当するものについては、その都度別に決定する。

第6 特別徴収開始通知書・停止通知書

後期高齢者医療に関する規則第3条に規定する特別徴収に関する通知の所定の様式は、第1号様式のとおりとする（上記第3に定める期別保険料決定通知書・変更決定通知書と同一の様式）。

第7 その他の期別保険料に係る様式

次の各号に掲げる後期高齢者医療に関する規則に規定する通知等に係る所定の様式は、当該各号に定めるとおりとする

- 1 後期高齢者医療規則4条第1項に規定する納付書（同条第2項に規定する領収証書と一体型とする。） 第2号様式

- 2 後期高齢者医療規則第4条第3項に規定する領収証書 第3号様式
- 3 後期高齢者医療規則第6条第1項に規定する督促状 第4号様式
- 4 後期高齢者医療規則第9条第1項に規定する通知書（還付通知書） 第5号様式
- 5 後期高齢者医療規則第9条第2項に規定する通知書（充当通知書） 第6号様式

第8 施行日

この要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成21年7月1日から施行する。

第 1 号様式
ア 第 1 面

後期高齢者医療保険料 通知書

あなたの 年度の後期高齢者医療保険料を次のとおり しましたので、通知します。
なお、この通知書については、 時点で作成しています。

被保険者番号	
被保険者氏名	
住 所	
決 定 年 月 日	
決 定 理 由	

大阪府後期高齢者医療広域連合長

公
印

◎保険料算定の基礎

①賦課のもととなる所得金額		②所得割率	③所得割額 (①×②)	④均等割額	⑤算出額 (③+④)	
⑥軽減額	減額割合	⑦限度超過額	⑧年保険料額 (⑤－⑥－⑦)	⑨加入月数	⑩減免額	年間保険料額 (⑧×⑨－⑩)

◎年間保険料額

決定額	変更前の額

◎市町村別保険料

決定額	変更前の額

イ 第2面

後期高齢者医療期別保険料 通知書兼特別徴収 通知書

あなたの 年度の後期高齢者医療期別保険料を次のとおり しましたので、通知します。
また、あなたの後期高齢者医療保険料の特別徴収を次のとおり から しますので、通知します。
なお、この通知書については、 時点で作成しています。

被保険者番号	
被保険者氏名	
住 所	
決 定 年 月 日	

大阪市長

公
印

◎ 通知書の発行事由

--

ウ 第3面

◎期別保険料額

		決定額（円）		変更前の額（円）	
		特別徴収額	普通徴収額	特別徴収額	普通徴収額
年 度 期 別 保 険 料 額	年4月期				
	5月期				
	6月期				
	7月期				
	8月期				
	9月期				
	10月期				
	11月期				
	12月期				
	年1月期				
	2月期				
	3月期				
本市年間保険料額計					

◎特別徴収の対象となる年金

年金保険者	
年金の種類	

※当年度4月から8月の対象年金は、4月の特別徴収開始通知書に記載しています。

◎保険料の納付方法

・特別徴収額

あなたの年金から保険料をお支払いいただきます。

・普通徴収額

口座振替、または納付書により納めていただきます。
口座振替による納付は口座振替依頼書により、振替を行う金融機関の口座を登録していただく必要があります。

あなたの納付方法	
----------	--

なお、各月における納期限は1月から11月までの各月は毎月末日、12月は翌年の1月4日です。これらの日が土・日曜日または、祝日にあたる場合はこれらの日の翌日が納期限です。

◎

年度仮徴収額

特別徴収額（円）

	4月期	6月期	8月期	合 計 額
変更前の額				
決定額				

備考 裏面にこの通知書の記載事項に不服がある場合における救済の方法及び取消訴訟を行う場合の被告とすべき者、出訴期間等を記載する。

第2号様式
ア 一括作成用

77

大阪市後期高齢者医療保険料
収入報告書(納入済通知書)

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名		口座 番号		合計 金額					円
収納機関 番号		納付 番号		確認 番号		納付 区分			
納期限				分類					

▼▼▼▼▼▼▼

32

▲▲▲▲▲▲▲▲

納付者氏名

発行

領収日付印

CVS収納代行

(大阪市又はコンビニ本部控え)

大阪市後期高齢者医療保険料
原符兼払込金受領証

公

加入者名
口座番号

納付者氏名

賦課年度	相当年度	賦番	区名

年度

合計金額

円

納付番号

領収日付印

大阪市会計管理者

(金融機関又はコンビニ店舗控え)

□切り取らないで郵便局・金融機関にお出してください。

大阪市後期高齢者医療保険料
領収証書

郵便局の窓口又は郵便局のATMでお支払いの場合は、左側二枚をお出してください。

納付者氏名

区名	年度		
	賦課 年度	相当 年度	
被保険者番号	賦番	月期	
		年月期分	

保険料額

円

上記のとおり領収しました。
納付番号

CVS収納代行

大阪市会計管理者

領収日付印

この領収書は2年間大切に保存してください。
(納付者控え)

77

大阪市後期高齢者医療保険料
収入報告書(納入済通知書)

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名		口座番号		合計金額					円
収納機関番号		納付番号			確認番号		納付区分		
納期限				分類					

32

▲▲▲▲▲▲▲▲

納付者氏名	発行		領収日付印
CVS収納代行			(大阪市又はコンビニ本部控え)

大阪市後期高齢者医療保険料
原符兼払込金受領証

公

加入者名
口座番号

納付者氏名

年度	賦課年度	相当年度	賦番	区名

合計金額

円

納付番号

領収日付印

大阪市会計管理者
(金融機関又はコンビニ店舗控え)

郵便局の窓口又は郵便局のATMでお支払いの場合は、左側二枚をお出しく下さい。

大阪市後期高齢者医療保険料
領収証書

10 後期高齢者医療
事業会計歳入

後期高齢者医療保険料

年度					
賦課年度		相当年度	賦番	区名	被保険者番号
月期	保険料額		督促手数料		延滞金
	円		円		円
計					
合計金額			円		

上記のとおり領収しました。

上記のとおり領収しました。

納付番号

CVS収納代行

大阪市	納期限
大阪市 会計管理者	領収日付印

この領収書は2年間大切に保存してください。(納付者控え)

ウ 督促状添付用

77

大阪市後期高齢者医療保険料
収入報告書(納入済通知書)

公

通 常 払 込 料 金
加 入 者 負 担

加入者名		口座 番号		合計 金額					円
収納機関 番号		納付 番号		確認 番号		納付 区分			
納期限				分類					

▼▼▼▼▼▼▼▼

32

▲▲▲▲▲▲▲▲

納付者氏名

発行

領収日付印

CVS収納代行

(大阪市又はコンビニ本部控え)

大阪市後期高齢者医療保険料
原符兼払込金受領証

公

加入者名
口座番号

納付者氏名

賦課年度	相当年度	賦番	区 名

年度

合計金額

円

納付番号

大阪市

区会計管理者

(金融機関又はコンビニ店舗控え)

領収日付印

郵便局の窓口又は郵便局のATMでお支払いの場合は、左側一枚をお出しください。

納付者氏名

区 名	年度		
	賦課 年度	相当 年度	
被保険者番号	賦番	月 期	
		年 月 期分	
保険料額	円		
督促手数料			
延 滞 金			
合計金額	円		

上記のとおり領収しました。

納付番号

CVS収納代行

大阪市会計管理者

領収日付印

この領収書は2年間大切に保存してください。
(納付者控え)

エ 納期限後納付用

77

大阪市後期高齢者医療保険料
収入報告書(納入済通知書)

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名

口座
番号

合計
金額

円

収納機
関
番

号

納付
番号

確認
番号

納付
区分

納期限

分類

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

32

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

納付者氏名

発行

領収日付印

CVS収納代行

(大阪市又はコンビニ本部控え)

大阪市後期高齢者医療保険料
原符兼払込金受領証

公

加入者名
口座番号

納付者氏名

年度

賦課年度

相当年度

賦番

区名

合計金額

円

納付番号

領収日付印

大阪市会計管理者
(金融機関又はコンビニ店舗控え)

郵便局の窓口又は郵便局のATMでお支払いの場合は、左側二枚をお出しください。

大阪市後期高齢者医療保険料
領収証書

納付者氏名

被保険者番号

賦課
年度

相当
年度

賦番

区名

年度

月期

保険料額

督促
手数料

延滞金

年

年

年

計

合計金額

円

納付番号

上記のとおり領収しました。

CVS収納代行

大阪市会計管理者

領収日付印

この領収書は2年間大切に保存してください。(納付者控え)

第3号様式
ア 窓口納付用

後期高齢者医療保険料領収証書

氏名		住 所			被保険者 番号		区分		
合 計 金 額		年度		賦課 年度		相当 年度		賦課 管理 番号	
				年度		年度		年度	
		保険料	督促手数料	延滞金	保険料	督促手数料	延滞金		
上記金額を領収しました									
年 月 日									
大阪市									
<div>公印</div>									
		小切手番号		券面金額		振出年月日			
		振出人			支払人				
		記事							
		受入額 釣銭							

イ 手書き用

後期高齢者医療保険料 領収証書

氏名 様	区コード	町（住所）コード		地 番		被保険者番号		区分
合 計 金 額	年度		賦課年度		相当年度		賦課 管理 番号	
			年度		年度		年度	
	保険料	督 促 手数料	延滞金		保険料	督 促 手数料	延滞金	
上記金額を領収しました 年 月 日 大阪市 区 出納員								
	小切手番号		券面金額			振出年月日		
	振出人				支払人			
	記事							

第 4 号様式

後期高齢者医療保険料督促状

被保険者番号	
--------	--

様

次の金額を納付書により裏面記載の納付場所で、指定期限までに納めてください

発行日				指定期限			
賦課年度	相当年度	賦番	月期	未納保険料	督促手数料	延滞金	計

大阪市長

公 印

備考 裏面にこの通知書の記載事項に不服がある場合における救済の方法及び取消訴訟を行う場合の被告とすべき者、出訴期間等を記載する。

後期高齢者医療保険料還付通知書

次の金額をお返しいたします。お受取り方法につきましては「還付金のお受取り方法」をご参照ください。

大阪市長



還付通知番号		被保険者番号				
被 保 険 者 氏 名				住 所		
過誤納番号	納付年度	賦課年度	相当年度	①納付額	②保険料額	③過誤納額①－②
④督促手数料		⑤延滞金	還付額③＋④＋⑤	還付加算金	過 誤 納 発 生 事 由	

第 6 号様式

後期高齢者医療保険料充当通知書

あなたが先に納められた後期高齢者医療保険料が過誤納となりました。高齢者の医療の確保に関する法律第110条等の規定において準用する介護保険法第139条第3項又は地方自治法第231条の3第4項の規定によりその例によることとされる地方税法第17条の2の規定に基づき、過誤納金を次のとおり未納保険料に充当しますので、通知します。

年 月 日

大阪市長

公印

区 名	住 所					
被保険者番号	被 保 険 者 氏 名					
過誤納番号	過誤納発生日	過誤納発生事由	納付年度	賦課年度	相当年度	過 誤 納 額
充当通知番号	充当日	充当先賦課年度	充当先相当年度	充当月期		充当額合計

＜充当内容明細＞

[illegible]